

福島町議会議員の評価

評価期間：平成22年4月～平成23年3月

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

所属委員会・役職名	在職年数	氏名	年齢
議長・総務教育常任委員会委員・渡島西部広域事務組合議会議長・渡島廃棄物処理広域連合議会議員	16年	平野隆雄	62

評価項目	具体的な項目	評価	
		取組み評価	結果の評価
1. 行政分野の取り組み	町内景気の活性化、町産業の推進	△	▲
	環境汚染防止対策の推進	△	△
	議会基本条例の効果的展開	○	○
	行政に対する疲弊感があり、議会としても対応の努力が必要。		
2. 財政分野の取り組み	財政計画と自立プラン、総合開発計画の見直しと調整	▲	▲
	各施設の円滑な管理と効率的な運営について	○	△
	町に合った効果的な事業選択の必要性がある。さらなる努力が必要。		
3. 経済分野の取り組み	両記念館・温泉施設の集客促進について	△	△
	ナマコ塩水ウニ等ブランド化の促進について	▲	▲
	森林林業事業の推進について	△	△
	集客施設についての総合的議論の不足、福島ブランド化の研究不足。		
4. 福祉分野の取り組み	健康な町づくりの中の医療制度・医療の助成について	○	△
	予防医療対策は順調に進展している現状であると思われる。		
5. 教育分野の取り組み	少子高齢化の中の教育行政の見直しと計画について	▲	▲
	幼児教育の将来性について	△	△
	給食センターの効果的運営と管理について	○	○
	統廃合、給食センターの新設は計画通りだが、運営管理の議論が必要。		
6. その他の取り組み	開かれた議会の推進と自らの学習	○	○
	政務調査費の効果的な活用	○	○
	情報の収集と議員研修への参加	○	○
	開かれた議会の議員として更なる努力が必要と考える。		

※各項目に4年間の総合的な評価を簡潔に記入しています。